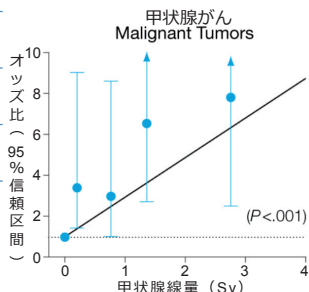




mSv : ミリシーベルト

| 甲状腺線量 | 平均線量 (mSv) | 対象 (人) | 患者 (人) | オッズ比* (95%信頼区間) |
|------------|------------|--------|--------|------------------|
| <5mSv | — | 755 | 33 | 1 |
| 5~100mSv | 32 | 936 | 36 | 0.85 (0.52~1.39) |
| 100~500mSv | 241 | 445 | 22 | 1.12 (0.64~1.95) |
| 500mSv< | 1237 | 236 | 15 | 1.44 (0.75~2.67) |

出典 : Hayashi et al., Cancer, 116, 1646, 2010



出典 : (公財)放射線影響研究所, JAMA 2006;295(9):1011-1022

※オッズ比 : ある事象の起こりやすさを2つの集団で比較したときの、統計学的な尺度。
オッズ比が1より大きいとき、対象とする事象が起こりやすいことを示します。
それぞれの集団である事象が起こる確率をp (第1集団)、q (第2集団) としたとき、
オッズ比は次の式で与えられます。
$$p \text{ のオッズ } \div q \text{ のオッズ } = p / (1-p) \div q / (1-q)$$

95%信頼区間が1を含んでいなければ、統計学的に有意であるといえます。

原爆被爆者における甲状腺がんの発症についてオッズ比(ある事象の起こりやすさを2つの集団で比較したときの統計学的な尺度)を見てみると、線量が高くなるほど、甲状腺がんのリスクも高くなることが示されています。甲状腺微小がんに限った調査では、有意ではありませんが、等価線量で100ミリシーベルトまではオッズ比が低く、100ミリシーベルトを超えるとオッズ比は高くなるということも示されています(オッズ比が1より大きい時、対象とする事象が起こりやすいことを示します)。

本資料への収録日 : 2013年3月31日

改訂日 : 2015年3月31日